

協和発酵キリン卓球交流会 (福島市北幹線第一仮設住宅)

12月15日、協和発酵キリン卓球部の選手が参加する卓球交流会が福島市北幹線第一仮設住宅で行われました。

この交流会は、キリングroupによる「復興応援キリン絆プロジェクト」のひとつで、笑顔の輪を広げる活動として行われたものです。

なお、協和発酵キリン株式会社様からは、今回交流会で使った卓球台(1台)とピンポン玉のほか、参加者全員にTシャツとお茶をいただきました。

交流会では、空くじなしの抽選会(景品:ラケットなど)なども行われ、ピンポン玉が弾むように心も弾み、笑顔が弾けていました。



ありがとうございました

栃木県黒磯市立黒磯中学校の皆さんから町へ義援金と仮設住宅の皆さんへ復興の祈りが込められた手作りのお菓子をいただきました。

黒磯中学校3年2組の皆さんは、総合的な学習の時間に“ボランティア”をテーマに授業を行いました。そこで、東日本大震災の被災地へ自分たちができることはないかと考え、1か月にわたり募金活動を行ってきました。

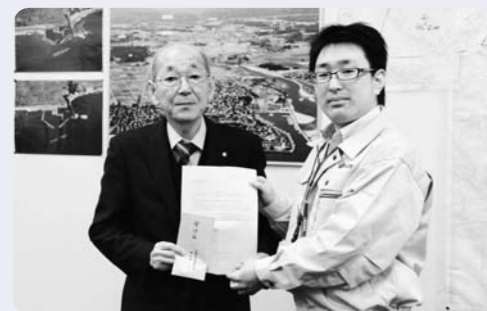
活動をする中で、実際に現地へ行きたいとの思いが強くなり、地元の黒磯那須青年会議所から浪江青年会議所を通じて役場にコンタクトし、12月26日、14名の生徒の皆さんの役場二本松事務所訪問が実現しました。



榎野副町長から町の状況説明を受ける生徒の皆さん



福島一兵様
(浪江町出身の歌手)
から町へ義援金を
いただきました。



右 猪原亮祐さん
(現在、笠岡市から浪江町へ派遣職員として応援いただいています。)

「笠岡弦楽合奏団 アニマート」(岡山県笠岡市を中心に音楽活動をしている演奏団体)の団長、中村幸太郎様から町へ寄附金をいただきました。

この寄附金は、昨年11月に開催された東日本大震災復興支援コンサートで募金活動を行って集められたものです。団員の菅謙治さんが24年度の1年間、笠岡市から浪江町への派遣職員として応援をいただいていた経緯から、町へご寄附いただきました。



大聖寺の鐘つき

大晦日の12月31日正午より、大聖寺(町内)において、除夜の鐘つきが行われました。

本来であれば大晦日の夜に除夜の鐘を突きますが、現在は避難指示の状況が続いており、夜間の宿泊が認められていないため、日中に行われたものです。

大聖寺の青田敦郎住職は、「来年は特例宿泊が可能となって、夜に鐘つきができるといい。やっぱり明るい空の下では雰囲気が出ないよね。」と話されました。

また、町内に一時立ち入りされていた町民の方が大聖寺を訪れ、「お墓参りも兼ねて自宅に来てみたら鐘の音が聞こえてきた。もしやと思い足を伸ばしてみました。」と話され、ご家族の皆さんが交代で鐘をついて行かれました。

静かな町内には鐘の音が遠くまで響きました。



皆さまの身の回りにある楽しい話題、
いっぴう変わった話題などの情報を募集しています。

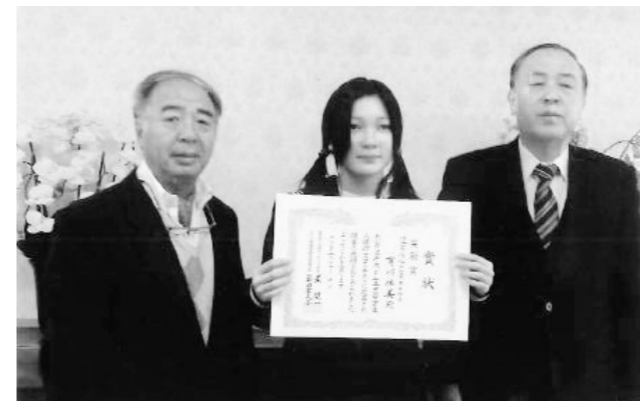
☎復興推進課情報統計係
TEL 0243(62)4731

中学生人権作文 コンテスト表彰

浪江中学校2年生の有川祐美さんの作文“未来の自分がより美しく”が、福島地方務局いわき支局長・いわき人権擁護委員協議会長より「奨励賞」を授与されました。

(本年度は県内143校から4,967編の応募がありました。)

また、全校生が応募した浪江中学校に対し、福島地方務局長・福島県人権擁護委員連合会長より感謝状が贈られました。

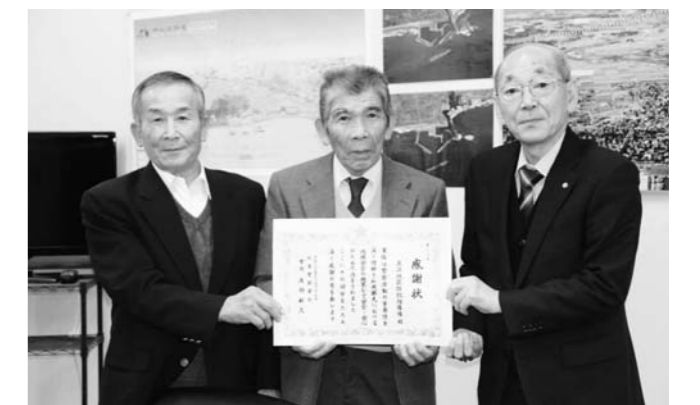


左から 浪江町人権擁護委員 鈴木恵一さん、有川祐美さん、浪江中学校長 濱名新一さん

浪江地区防犯指導隊へ双葉警察署より感謝状贈呈

12月27日に双葉警察署より感謝状が贈られた、浪江地区防犯指導隊の君島勝見隊長と高橋政雄副隊長が1月7日に役場二本松事務所を訪れ、町長に報告をしました。

この感謝状は、震災以来二本松を中心に、本宮市・福島市・桑折町と県内の仮設住宅を防犯巡回するなど、地域安全活動の功労をたたえたものです。



左から 君島勝見隊長、高橋政雄副隊長

自治会の活動

二本松市
旧平石小学校仮設住宅自治会

門松・しめ縄・鏡餅づくりと懇親会

12月23日、二本松市旧平石小学校仮設住宅において、門松・しめ縄・鏡餅づくりが行われました（震災以降毎年行っており、今年で3回目）。

町民の方からは「門松の作り方がわかる方も高齢となってしまった。こうした文化も若い方に伝えていければ良いのだが…」といった声も聞かれました。

お昼にはつきたてのお餅を入れたお雑煮が振る舞われ、多くの町民の方が集まりました。また、余興などもあり、皆さん明るく、笑顔で新年を迎える準備をされていました。



ここからは広告です。

第32回全国公募・学生部併催

煌心展

酷暑の折ですが何卒ご清鑑を賜りたくご案内申し上げます。

主催 煌心書道会
会長 松崎龍翠(俊憲)
福島県二本松市金色401-8
FAX 0243-24-1961
後援 産経新聞社

平成26年
2月15日(土)~21日(金)17日
休館
開催時間 9時30分~17時30分(入場は17時迄)
初日14時開場 最終日14時30分終了(入場は14時迄)
上野公園 東京都美術館



賛助出品 原田直之氏
浪江町名誉町民受章
福島県外在住功労者知事表彰受章
(財)日本歌手協会理事長
(財)日本民謡協会より「民謡名人位」受章
作品 90×90cm

